

監督	富澤 明	コーチ	池田浩三	<h1>弓 道</h1>	第267号
主将	木俣録八	副務	藤原 真		2008.10.27
副将	金子哲也		頼政秀幸		NTT東日本東京
主務	河合亮一	部報担当	近藤礼之		弓道部

第56回全日本実業団弓道大会 & 第28回遠的大会 3種目に優勝の快挙

20年10月17日～19日場所: 明治神宮第1・2弓道場 参加: 20都府県: 62事業所: 120(女子11)チーム: 850名

念願の””事業所対抗戦・初優勝”” = 産業別戦H2年大会以来2度目の優勝 =

”遠的大会: 個人男子の部藤原部員2度目の優勝”

今回は明治神宮大会となり、参加部員も22名4チームと念願の初栄冠目標に大挙して臨んだ。

今回も大会役員として近藤先輩が大会副委員長 & 競技副委員長として大会運営全般の仕切り役を、また今回から常任理事に推挙された本橋先輩を記録副委員長に、記録員として藤原・頼政・熊野・岡田の5部員を中心に、また総務員に森部員を配して大会運営業務をこなしての参加で、選手出場の他部員や弓友の協力を得ながら大会を盛会無事に収めた。会長からもNTT東京弓道部員の強力なバックアップがあつたことお礼の言葉がありました。誠にお疲れ様でした。

我が部は民営化前年の昭和59年(32回大会)初参加以来**事業所対抗戦**の優勝が出来ず、過去3位が最高3回(H9・12・16年)で、毎回栄冠奪取で臨んできたが、25年目にしてやっと、念願がかないました。また、**産業別戦**も平成2年に初優勝したが、その後2位が2回、3位が5回、4・5位が4回となかなか2度目の優勝が出来ませんでした。こちらも18年ぶりやっと2度目の優勝を果たせました。

遠的大会は、平成3年に団体優勝して社長表彰を受けて以来、入賞5回あり、昨年2位と今年に期待したが惜しくも8位の成績で入賞を逸したが、個人戦男子に出場の藤原部員が見事平成17年以来2度目の栄誉。

第1日目には、事業所対抗戦の1次予選(4ヶ所2回*5名=40射の得点制、2次予選進出は上位96チーム)兼産業別戦が行われ、Aチームが159点と総合1位で、Bチームは98点34位、Cチームは54点92位で1次予選通過したが、Dチームは50点で97位の成績で、1次予選敗退となったかに思われたが、91位55点旭化成チームが2次予選を辞退したため、繰り上げられて初の1次予選落ちが避けられ4チームすべてが1次予選通過した。

産業別戦は電力・通信・電機の部56チームの戦いとなり、Aチームが常連アスモ・イビデン・東海理化・東電を抑えて2度目の優勝を果たす。他の3チームは的中が上らず残念でした。

事業所対抗戦の2次予選の戦況は、Aチームは頼政部員が出張で変わって急遽北海道から呼び寄せた及川部員の奮闘もあって第1戦グローリーを44対17で快勝、2回戦は強豪デンソーに33対19とこれも快勝。3回戦は富士フイルムにも勢いで44対5と2年連続準決勝に進出。しかしBチームは安永に的中上らず16対22で惜敗。またCチームも三菱化学四日市に11対38で敗退。さらにDチームは4人組の日機装Bチームに1本的中せず0対26で完敗。ここでAチームのみに期待するは目となってしまった。

準決勝戦は、12ブロックからの勝ち上がりで改めて6チーム選出の対抗戦組み合わせ抽選を行い、Aチームは日立製作所Fと対戦することになった。Aは前半3名藤原・及川・河合で11中55点を挙げ、日立は4中23点と大きく引き離後半2名に繋ぐ。後半池田が7点10点5点止め矢外しと更に引き離し木俣も5点3連止め矢外して6中37点合計17中92点と本日最高得点で、日立3点3中9点合計32点と大差で快勝。2年ぶり決勝戦に進出。

決勝戦は、東西3チームずつの戦いとなり、前半3名の順位はアスモCが10中60点、東電Aが9中53点にNTT東京A10中53点、アスモA10中51点、前年優勝のイビデン7中38点と低迷、富士重工6中28点の、上位厳しく後半2人の出来次第。前半上位からアスモCが4中21点=81点、東電Aが6中30点=83点、NTT東京A7中36点=89点、アスモA6中30点=81点とCと同点、イビデンは5中19点と=57点で連勝なし、富士重工3中15点=43点の最終結果で、NTT東京A念願の初優勝を成し遂げた。Aチームは1次予選から5名が纏まり、総合7割9分と快調な中で、特に先方藤原選手の22射21中9割6分129点/21=6.1点の高得点が光り、心配した池田コーチもなんと6割超、木俣主将も7割超で責任を果たす。ましては北海道から招請された及川部員、頼政部員に劣らずの大健闘と選手一丸となつての初勝利となった。

個人戦は、男子1・女子2・交歓4名が出場したが、役員兼務の重荷がいずれも入賞には至らなかった。

””第28回遠的大会”” 団体戦は5年連続入賞を逸し8位の成績に終わるも、個人戦男子の部で好調藤原部員2度目優勝果たす。

団体戦は、Aが藤原10・7・5・3=25点/及川10点/木俣5点=40点8位、Bは池田3点/田中6点/富澤3点=12点、78位の成績でした。**個人戦**は藤原選手一人の活躍。

第56回全日本実業団弓道大会結果

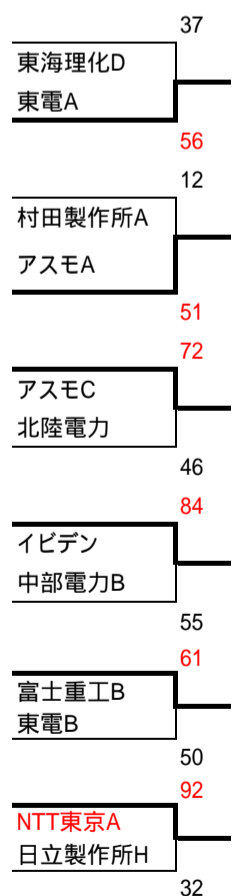
順位	事業所対抗戦	点	産業別(電力・通信・電機)	点	女子対抗戦	点
優勝	NTT東日本東京A (53+56)	89	NTT東日本東京A	159	アスモC	76
2位	東京電力A (53+30)	83	アスモA	154	東海理化D	60
3位	アスモC (60+21)	81	東海理化D	148	ダイキ	56
4位	アスモA (51+30)	81	イビデン	123	味の素川崎A	21
5位	イビデン (38+19)	57	東海理化A	120	東京特別区役所C	20
6位	富士重工業B (28+15)	43	アスモC	118	日立製作所H	6
敢闘賞	東海理科D	37				
敢闘賞	村田製作所	12				
敢闘賞	北陸電力	46				
敢闘賞	中部電力B	55				
敢闘賞	東京電力B	50				
敢闘賞	日立製作所F	32				

順位	交歓射会	点
優勝	高橋政時(NEC)	24
2位	飯山 昇(富士フイルム)	22
3位	武田 昇(いすゞ自動車)	21
4位	森 渉(東海理化)	21
5位	松本献一(本田技術研究所)	20
6位	永井孝浩(JFEスチール)	20

順位	個人戦男子	点
優勝	山村秋明(JFEスチール)	29
2位	大浦 誠(世田谷信用金庫)	28
3位	松本秀彦(神戸市役所)	25
4位	鈴木喜之(豊田自動織機)	22
5位	飯塚昌利(トヨタ自動車)	22
6位	村山弘光(肥後銀行)	20

順位	個人戦女子	点
優勝	宮本早苗(ダイキ)	25
2位	毛受里奈(東海理化)	23
3位	島村依里(富士重工業)	22
4位	山村美恵子(JFEスチール)	20
5位	久米谷理恵(東京電力)	19
6位	山口裕子(キャノン)	17

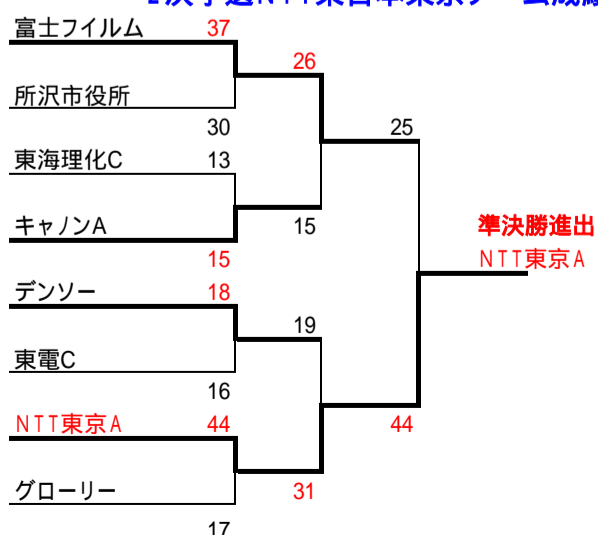
準決勝戦



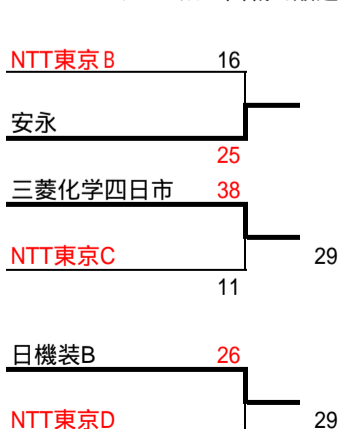
第28回遠的大会結果

順位	遠的団体事業所対抗戦	点	個人戦男子	点	個人戦女子	点
優勝	東海理化A	52	藤原 真(NTT東日本東京)	25	宮本早苗(ダイキ)	22
2位	神戸市役所	52	加納康行(東海理化)	24	中神沙奈美(アスモ)	21
3位	アスモA	51	田辺宏幸(富士フイルム)	23	久留宮貴美子(東海理化)	20
4位	三洋電機A	44	六本木 保(東京電力)	22	塚本京子(三洋電機)	20
5位	愛知県庁	41	青木秀紀(アスモ)	21	早川知子(イビデン)	18
6位	三洋電機D	41	村田信二(三菱電機伊丹)	20	山内絵里加(ダイキ)	18

2次予選NTT東日本東京チーム成績



B/C/Dの3チームは1回戦で敗退



来年度からは準決勝戦は廃止し、2次予選(トーナメント戦)勝利チーム12チームで決勝戦を行うことになりました。

団体名	氏名	産業別戦(56チーム)兼事業所対抗戦(120チーム)1次予選										事業所対抗戦2次予選(96チーム)										事業所対抗戦										団体戦個人記録														
		1回目					2回目					合計		1回目			2回目			3回目			合計		準決勝戦(12チーム)					決勝戦(6チーム)					合計		合計		合計							
		1	2	3	4	小計	1	2	3	4	小計	得点	的中	1	2	小計	1	2	小計	1	2	小計	得点	的中	1	2	3	4	小計	1	2	3	4	小計	得点	的中	得点	的中	射数	的中率						
NTT東京A	藤原	7	7	5	7	26	7	7	3	3	20	46	8	10	5	15	0	5	5	7	7	14	34	5	7	5	5	5	22	3	10	7	7	27	49	8	129	21	22	0.955						
	頼政	3	7	0	0	10	3	7	3	7	20	30	6			0			0			0	0	0					0	0	0	30	6	8	0.750											
	河合	0	7	0	5	12	3	3	5	10	21	33	6	3	5	8	0	5	5	5	10	15	35	5	5	5	0	3	13	6	19	5	87	16	22	0.727										
	池田	3	0	0	5	8	0	5	0	3	8	16	4	0	3	3	5	5	10	0	5	5	20	4	7	10	5	0	22	0	5	5	10	20	42	6	78	14	22	0.636						
	木俣	3	10	0	3	16	3	5	5	5	18	34	7	5	0	5	0	3	3	0	5	5	13	3	5	5	5	0	15	3	5	5	3	16	31	7	78	17	22	0.773						
	及川													10	3	13	5	3	8	0	5	5	18	5	5	5	5	5	20	5	5	5	5	20	40	8	58	13	14	0.929						
合計					72					87	159	31	8	中	44	7	中	31	7	中	44	120	22	17	中	92	17	中	89	181	34	460	87	110	0.791											
成績	産業別戦 1位					対抗戦: 1次予選 1位通過					対グローリー17点					対デンソー19点					対富士フィルム25点					通過					対日立製作所F 32点					1位の成績					点		中		射	
NTT東京B	杉山	7	5	3	0	15	5	3	5	0	13	28	6	0	5	5			0			0	5	1					0	0	0	33	7	10	0.700											
	本橋	7	0	5	3	15	0	5	5	3	13	28	6	3	0	3			0			0	3	1					0	0	0	31	7	10	0.700											
	岩田	0	0	3	0	3	0	0	0	5	5	8	2	0	5	5			0			0	5	1					0	0	0	13	3	10	0.300											
	金子	0	0	3	0	3	0	0	0	3	3	6	2	0	3	3			0			0	3	1					0	0	0	9	3	10	0.300											
	富澤	5	0	5	3	13	0	7	5	3	15	28	6	0	0	0			0			0	0	0					0	0	0	28	6	10	0.600											
	合計					49					49	98	22	4	中	16			中			中	16	4			中	0			中	0	0	0	114	26	50	0.520								
成績	産業別戦 -16位					対抗戦: 1次予選 34位通過					対安永25点					対					対					1回戦敗退					対					位の成績					点		中		射	
NTT東京C	横瀬	0	0	5	0	5	0	0	0	0	0	5	1	0	3	3			0			0	3	1					0	0	0	8	2	10	0.200											
	保科	0	3	0	7	10	0	0	0	5	5	15	3	0	0	0			0			0	0	0					0	0	0	15	3	10	0.300											
	高橋	0	3	0	0	3	0	3	0	0	3	6	2	0	0	0			0			0	0	0					0	0	0	6	2	10	0.200											
	栗田	0	5	0	0	5	0	0	0	0	0	5	1	5	3	8			0			0	0	2					0	0	0	5	3	10	0.300											
	田中	0	5	5	7	17	0	0	5	0	5	22	4	0	0	0			0			0	0	0					0	0	0	22	4	10	0.400											
	合計					40					13	53	11	3	中	11			中			中	3	3			中	0			中	0	0	0	56	14	50	0.280								
成績	産業別戦 45位					対抗戦: 1次予選 92位通過					対三菱化学38点					対					対					1回戦敗退					対					位の成績					点		中		射	
NTT東京D	熊野	0	5	5	0	10	0	0	5	5	10	20	4	0	0	0			0			0	0	0					0	0	0	20	4	10	0.400											
	岡田	0	0	0	0	0	3	0	3	5	11	11	3	0	0	0			0			0	0	0					0	0	0	11	3	10	0.300											
	森	0	0	0	0	0	0	0	3	0	3	3	1	0	0	0			0			0	0	0					0	0	0	3	1	10	0.100											
	小泉	0	0	0	0	0	3	0	0	0	3	3	1										0	0					0	0	0	3	1	8	0.125											
	近藤	0	0	3	0	3	5	0	0	5	10	13	3	0	0	0			0			0	0	0					0	0	0	13	3	10	0.300											
	井口													0	0	0			0			0	0	0					0	0	0	0	0	2	0.000											
合計					13					37	50	12	0	中	0			中			中	0	0			中	0			中	0	0	0	50	12	50	0.240									
成績	産業別戦 49位					対抗戦: 1次予選 96通過					対日機装B26点					対					対					1回戦敗退					対					位の成績					点		中		射	

個人戦成績 (男子120名:女子86名) (69名)

種別	選手	1	2	3	4	点	中	順位
男子	井口	0	0	3	0	3	1	99位
女子	熊野	0	0	0	0	0	0	48位
女子	岡田	0	0	0	0	0	0	48位

種別	選手	1	2	3	4	点	中	順位
交歓	森	7	7	0	0	14		17位
交歓	富澤	0	0	0	0	0		51位
交歓	本橋	0	7	5	3	15		16位
交歓	近藤	3	5	5	0	13		18位

過去の入賞歴

事業所対抗戦	産業別(電力・通信・電気)	遠の大会
H 4: 8位	S 62: 3位	H 3: 優勝
H 9: 3位	H 2: 優勝	H 5: 5位
H 11: 敢闘賞	H 4: 4位	H 16: 6位
H 12: 3位・5位・6位	H 7: 4位	H 17: 3位
H 15: 5位	H 10: 4位	H 18: 5位
H 16: 敢闘賞	H 11: 5位	H 19: 2位
H 18: 4位	H 12: 3位・6位	
H 20: 優勝	H 13: 2位	
	H 14: 2位・5位	
	H 15: 3位	
女子団体	H 16: 3位	
H 16: 3位	H 17: 3位	
H 17: 敢闘賞	H 19: 3位	
H 18: 敢闘賞	H 20: 優勝	

個人男子	交歓	個人男子
H 4: 3位木俣	S 63: 2位島田	H 3: 4位杉山
H 11: 2位木俣	H 5: 2位近藤	H 5: 4位田中
H 13: 4位杉山	H 10: 優勝近藤	H 11: 3位藤原
H 15: 5位頼政	H 12: 6位清水	H 13: 3位及川
	H 14: 5位保科	H 17: 優勝藤原
	H 17: 3位富澤	4位及川
		H 18: 4位頼政
		H 20: 優勝藤原

岩田先輩:今まで念願であった優勝ができて本当に良かったと一晩たつてあらためて思いました。私が入部して以来25年、この全実はこの私の弓道人生にとって大きな経験をさせてくれました。チーム一丸となって一本一本のプレッシャーと声援を受けて引く射は、他の大会とは違った雰囲気がありました。私が主将でありながら、早気の真っ只中、旧日本電装時代の本田先生と同じ立ちになりました。私の早気の射とは比べものにならない深い会、離れのの鋭い射を今でも忘れません。その時から早気を克服できなければ、弓は止めようと思えてくれたのも全実でした。早気は何とか克服できたものの鋭い中の射は挑戦中で今日にいたっています。何とか理想とする射目指して頑張ります。

河合選手:今回は、東京弓道部の初の全国制覇にメンバーとして出させて頂き、本当に有難うございました。初日から決勝まで、全く調子の上がることなく、Aチームの他のメンバーはもとより、応援頂いた皆様に、大変な不安を感じさせてしまい申し訳ありませんでした。特に決勝は、初制覇の試合で大変な汚点を作ってしまい、重ねてお詫び致します。今後は、今回の反省を十分に生かし、来年連覇に大きく貢献できるように稽古して行きたいと思っております。有難うございました。

森選手:おめでとうございます。男の涙は感動的でした。

藤原選手:入社してから、全日本実業団弓道大会では、的中で上回りながらも点数で負けたり、Bチームが頑張っている中、Aチームが早々に敗退するなど、苦しい展開が多い大会でした。今回、予選一回目から最後まで、抜いても他のメンバーがしっかりカバーしてくれる展開で、大前としてはやるだけやって後を任せることができました。また、自分自身もいつもの「3点5点男」を返して中心に近いところへ詰め、団体優勝に貢献できたことをとても嬉しく思います。事業所対抗のみならず、産業別優勝も初めてで、さらには遠的個人でも優勝をいただくことができ、本当に最高の全実でした。参加された皆さん、応援してくださいました皆さん、ありがとうございました！

栗田部長:今回初参加で大会独特の雰囲気に呑まれ自分の射ができませんでした。準決・決勝とAチームの真逆で、射手と息合いを合わせながら一体となって応援した結果の優勝で格別の感動と味わいがありました。今大会を振り返ってみますと、かなりのこじつけはありますが、B・C・Dチームが必死に1次予選通過を果たして流れをつくり、2次予選では控えめな射に徹して3チームの勝利への執念や運やツキの全てをAチームに捧げ託したという捨て身の犠牲的精神がAチームの優勝に貢献したというという見方もできるのではないかと勝手に思っております。そういう意味ではNTT東日本東京チーム全体的一致団結した総合力による優勝でしたね。

北海道の及川です:入部してから8年間、最初はBチームで出場し、分けわからないまま6位入賞して、部の実力を考えるとこんなもんだらう。と感じたのが悪かったのか、それ以降7年間Aチームで出場するも決勝にすら進出できないまま転勤を迎えて、本当に最後と決めた昨年の伊勢でも

準決勝敗退で、いつものように決勝に進出するイビデンやアスモとの差を痛感し、オレの運命ってこんなもんなのかなー？と思ってました。試合全体を振り返ってのことですが、やはり絶対的な自信になることは的中。今回全国制覇は部員の念願であり、その想いはこの部を立ち上げた先輩達ほど強いものであり、この結果は先輩達のおかげであります。また、立ちの度に皆の応援で勇気づけられました。とても感謝しています。今回木俣主将から、頼政君の出張で二日目に参加してくれないか？とメールが来た時は悩みました。北海道で転勤後組稽古をまったくしていないボクに参加要請があったことは本心うれしく思い、一生懸命を務める覚悟で臨み、その思いと意気込みで何と代役を務めたこと感謝です。(長文につき中略)

第28回遠の大会結果(130チーム)

団体名	氏名	遠の大会(130チーム)					団体名	氏名	遠の大会(個人男子252名)						
		1	2	3	4	合計			個人順位	1	2	3	4	合計	個人順位
NTT東京A	藤原	10	7	5	3	25	1位	NTT東京B	池田	0	0	0	3	3	173位
	及川	0	5	5	0	10	77位		田中	3	0	3	0	6	123位
	木俣	0	0	0	5	5	140位		富澤	3	0	0	0	3	173位
	合計	点	40				合計		点	12					
成績	団体戦順位 8位						成績	団体戦順位 78位							

他事業所からのお祝いメッセージ
アスモ弓道部 片山様:実業団大会では大変お世話になりましたありがとうございますm(_)_m。NTTの優勝おめでとうございますV()V 大会の運営しながらいつも大変だナァと思っておりましたが、素晴らしい結束力と集中力を拝見させていただきました。アスモ弓道部も負けずに頑張りますよ。(´。´) また、お会いできる日を楽しみにしています。
横河電機弓道部 河野様:先の全日本実業団大会では幹事役お疲れさまでした。またチームの総合優勝、おめでとうございます。準決勝、決勝の立ちを拝見させて頂きましたが、最高の場面で五人揃って最高のパフォーマンスを出せる個々の実力と、チームとしての結束力を見せて頂きました。遠く及ばずながら我々も来年は一步でも近づきたいと思えました。
明治安田生命大西様:NTT東日本東京のご健闘そして「優勝」、誠にめでたく御座います。
HI田様:おめでとうございます。

労務厚生 森田です:初の全国制覇おめでとうございます。すごい快挙ではないかと思えます。日頃の稽古の賜物ですね。ぜひ社員の方々にもPRをしたいと思えます。

以下部員のメッセージ

富澤監督:選手は勿論、東京弓道部員一丸となって目標に向かって進んだ結果が実を結んだ結果だと思えます。入部以来23年、自分がAチームで成し得なかった偉業を良くやってくれました。NTT東京弓道部監督として、中央道場での胴上げは一生の思い出になります。

本橋先輩:「相手を意識しすぎて敵的に射込んでしまった伊勢でのトヨタ戦。決勝6チーム中に、なんとNTT東京3チームが進出、しかし優勝旗に手が届いてたのにポンイチで逃してしまっただけで、2000年10月23日(電電記念日)の大会。自分には、何んと言ってもこの二点が頭から離れない全実です。毎回この屈辱の二点を背負い「いつかはリベンジを」と誓って臨んでいる大会でもあります。そんな中今回の快挙は、まさにこの誓いを果たしてくれたものと感無量です。今回の頼政君の途中欠場などが避けられないような厳しい職場環境は我々の宿命です。そこは残りの選手・チームが一丸となってもう一つのタイトル獲得に向けて精進を重ねましょう。」

木俣主将:今回の大会では、いつもと違う良い流れのまま勝ち進むことができました。平均得点は一人だけ5点に届かず、前でかせいでくれた点数に救われ、追いつめられることなく勝負というよりは、前の人達についていくことだけを考えて引いていくことができました。最後の1本を引き終わった時は、緊張感の中で、引き終わったという充実感で一杯の中、引き上げることができました。メジャー大会での優勝経験が今までなかったため、感無量の思いをようやく体験することができました。本当にありがとうございました。次は、全日本勤労者初優勝です。また、よろしくお祈りいたします。

保科先輩:弓道部のみならず、全国実業団事業所対抗、産業別、遠的個人戦の三賞優勝おめでとうございます。若手、中堅部員の活躍が目立つ今日この頃を考えると、取るべくして実力で勝ち取った優勝と思えます。この自信で、来年こそ全日本勤労者大会を制し、全国に「NTT東日本東京」の名を轟かせてください。この勢いを保持してこそ、ほんまもの「日本一のグループ」と賞賛されること間違いなしと確信します。それには、今まで以上に仲間やチーム同士が切磋琢磨し、一射でも多い的中を心がければと思います。先日の打上げ時、自称我々「G(ジー)グループ」は名を改めgood「G(グー)グループ」といたしました。若手部員の台頭に劣らず、今日GGのメンバーの活躍が目立ってきていますので、皆様お楽しみを！！

参加できなかった大井です:事業所対抗初優勝！おめでとうございます。さらに、3種目優勝おめでとうございます。また、役員の皆様、運営の等のお仕事お疲れ様でした。実力通りの結果が出て大変うれしく思います。